

ZOZO

コスメ専門モール「ZOZOCOSME」をオープン

ファッション通販サイトを運営するZOZONは、ZOZOTOWN上のコスメ専門モール「ZOZOCOSME(ゾゾコスメ)」を3月18日にオープンする。



ZOZOCOSMEは、ZOZOTOWNの約7割を女性が占め、平均年間購入金額は4万3809円、会員構成の中心はZ世代(16〜24歳)・ミレニアル世代(28〜38歳)となっており、さらにリピート購入率も高くなっている。

また、モールの開業と同時に提供を開始する「肌色」を計測するツールを発売するのは今回が初めてとなる。

「ZOZOCOSME」は、足の3D計測用マップ



田中科学 代表取締役 田中 寿賀氏

田中 寿賀氏

The Voice

「私も姉も幼少期からアトピー肌に悩んだ。祖父は、家族のために研究に没頭した。同社が掲げる開発ポリシー「肌へのやさしさ」と効果実感の両立」はここに由来する。

その時の肌の調子に合わせて、水溶性の化粧水と油性の美容液の量を調節し、手の上で2つを調合すると、自分の肌に適した保湿乳液が完成する。いわば、手の平オーダーメイドスキンケアだ。

その後、2011年の東日本大震災で宮城県山元町の仙台第二工場が被災し、従業員1人が犠牲となったが、2017年に約15億円の補助金を得て同工場を復旧させるとともに、巨理町に宮城本工場を新設し、復興に向けた歩みを進めていた。

7期連続となる営業赤字額は約4億円にのぼっていたうえ、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い国内の化粧品市場が低迷し、同社の売上も大幅に減少していた。

このため、地元の再生支援協議会の手続きで私的整理を模索していたが、多額の公租公課の支払いが困難と判断し、今回の措置となった。

負債は債権者約200名に対し約26億円。今後はアントレックス(東京都新宿区)の支援を受け、同社子会社への事業譲渡を目指すとしている。

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10

「明日は、もっと美しく。」をコンセプトに開発着手から約10



ZOZOのビル

（禁無断転載）©R
本紙の全部または一部を無断で複製・複製（コピー）することは、堅く禁じられております。
本紙からの複製を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY)(03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。